

食、寔鳥鴉之屬也、其知來往及營巢之事未詳之、世未蕃類、故不知肉之氣味焉、

〔大和本草十五〕鴉雜禽

畿内東北州ニ無之、筑紫ニ多シ、朝鮮ヨリ來リシニヤ、高麗鳥ト云、鳩ヨリ小ニ、

ツグミヨリ大也、羽ニ黑白アリ、尾長シ、本草ニノセタル鴉ニヨク合ヘリ、日本紀天武帝ノ時、新羅王鴉二隻ヲ獻ズ、

〔重修本草綱目啓蒙三十三〕鴉

カサ、ギ和名カサ、古歌朝鮮ガラス。高麗ガラス。筑前後

トウガラス。肥前カチガラス。同上。肥後ガラス。薩州一名靈鴉禽經喜奈何精異不奈

何事物紺珠青喜同上乾鴉蘇氏唐則寄雞林喜郎事物鳩鴉通雅

此鳥東國ニ來ラズ、筑前後、肥前後ニハ多シ、桑椹熟スル時殊ニ多シト云フ、常ニ慈鳥ト雜居シ噪鳴ス、多クハ慈鳥ニ害セラル、頭背黑色微褐、肩ノ處ニ白羽アリ、翅ハ黑色碧光、風切本ハ綠光、末ハ黑褐、重リタル内ハ雪白色、尾身ヨリ長クシテ黑色綠光末ニ近クシテ紫光アリテ八ノ字ノ如シ、尾ノ裏ハ黑色微褐、胸腹ハ白色微褐、背脚深黑色光アリ、肥後ニハ白斑ナル者アリ、白翅ナル者アリト云、唐山人慈鳥噪ゲバ凶アリ、鴉噪ゲバ吉ナリトテ、喜鴉ト呼ブ、朱文公ノ詩ニ、鴉噪未爲吉、鴉鳴豈是凶、吉凶人自召、不在鳥聲中ト群談採餘ニ出ス、

〔百千鳥上〕唐鳥 飼かいハヤ四分彖、青味入、

きじやくといふ、大きさ八々鳥三かけ有べし、總身黒くして、腹白く、かたのあたり白毛有、兩羽にまた白き所あり、總體からすに似たり、背の上へからすのごとく髭かしりて、足黒く、尾長し、背つよく籠をやぶる物なり、巢もなすべし、此鳥唐鳥共言、筑前國あたりには多居よし、よつて筑前がらすともいふ、さりながら唐にも有と見えて、唐畫に此鳥多し、

〔延喜式二十〕祥瑞

白鴉中 右下瑞